

金武・中城湾港の津波防災の現状

1. 沖縄県地域防災計画(津波関連抜粋)

沖縄県地域防災計画書を収集し、津波に関連する記述内容を整理すると下記のとおりである。

○ 沖縄県地域防災計画(平成19年3月)

(総則編) 第1章総則 第4節災害の想定 2 地震及び津波

(1) 想定地震

ア 沖縄本島南西沖地震(M(マグニチュード) = 8.0)

沖縄本島中南部地域には県の人口の約82%(那覇市には約24%)が集中しており、地震が発生した場合の影響が極めて大きいと考えられる。そこで、沖縄本島中南部に大きな被害を与える可能性のある地震として、沖縄本島南西沖を震源とする地震に関する想定を行うこととした。

沖縄本島南西沖の海域には近年地震活動があまり発生していない、いわゆる「地震の空白域」が存在している。この地域では、地盤のひずみがかかり蓄積されている可能性があることから、地震の規模は琉球海溝で発生した最大規模の地震であるM = 8.0とした。

(3) 予測結果の概要

ア 沖縄本島南西沖地震(M = 8.0)

(ウ) 津波被害

沖縄本島中南部に地震発生後10分程度で到達し、周辺離島にも20分以内に到達が予想される。これらの海岸部では、遡上高が5mを超えるところも多く、浸水域も市街地に広がるものと思われる。

(以下省略)

(地震編) 第1章災害予防計画 第2節地震に強いまちづくりのための計画

第1款地震被害の未然防止計画

8 港湾・漁港整備事業(実施主体: 沖縄総合事務局、港湾課、漁港漁場課、市町村)

(2) 港湾・漁港整備事業の実施

港湾・漁港は海上交通ルートによる避難、救助、輸送を行ううえで極めて重要な役割を果たすものである。そのため、地震、津波によっても大きな機能マヒを生じないよう特に重要な拠点港湾・漁港とそれを補完する港湾及び離島の生活を支える港湾において、耐震性強化岸壁、港湾緑地、背後道路等の整備に努め、震災後の物資輸送拠点としての機能の確保に努める。

本県における耐震強化岸壁等の整備状況については第2章交通輸送計画を参照

(以下省略)

第2款津波被害の防止計画

本県は、大小多くの島々で構成され、過去には津波による大きな被害を受けた島も存在する。住民、漁業関係者、海水浴客、釣り人等を津波被害から守るためには、被害の未然防止、拡大防止のための必要な体制・手段を整備する。

1 津波避難計画の策定・推進(実施主体:防災危機管理課、市町村)

(1) 県

県(防災危機管理課)は、「津波対策推進マニュアル検討報告書」(平成14年3月津波対策推進マニュアル検討委員会)及び「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン」(平成17年3月集中豪雨時等における情報伝達及び高齢者等の避難支援に関する検討会)の主旨に基づき、市町村の津波避難計画の策定に資するため、以下の事項について定めた津波避難計画策定指針を整備するよう努める。

なお、津波に対する避難指示発令の判断基準については、基本編第2章第8節避難計画中「2 避難勧告等の運用」のとおりである。

ア津波浸水予測図(津波到達予想時間も含む)

イ避難対象地域

ウ避難困難地域

エ避難場所等、避難路等

オ職員の参集基準等の初動体制

カ避難勧告、指示等の発令の基準等

キ津波対策の教育・啓発

ク避難訓練

ケ観光客、海水浴客、釣り客等の避難対策及び災害時要援護者の避難対策等その他留意すべき事項

(2) 市町村

市町村は、独自であるいは県が整備する上記指針を参考に地域の実情に応じた津波避難計画を策定するよう努める。

(以下省略)

2. 金武・中城湾港の現状

重要港湾指定(1974.4.23) 港湾管理者:沖縄県

港湾区域:中城湾港(23,958ha)(全国2位)、金武湾港(19,482ha)(全国3位)

参考:千葉港(24,800ha)(全国1位)、那覇港(3,400ha)(全国37位)



※数字で見る港湾(2010年度版)より

3. 津波浸水被害予測図(金武・中城湾港関連抜粋)

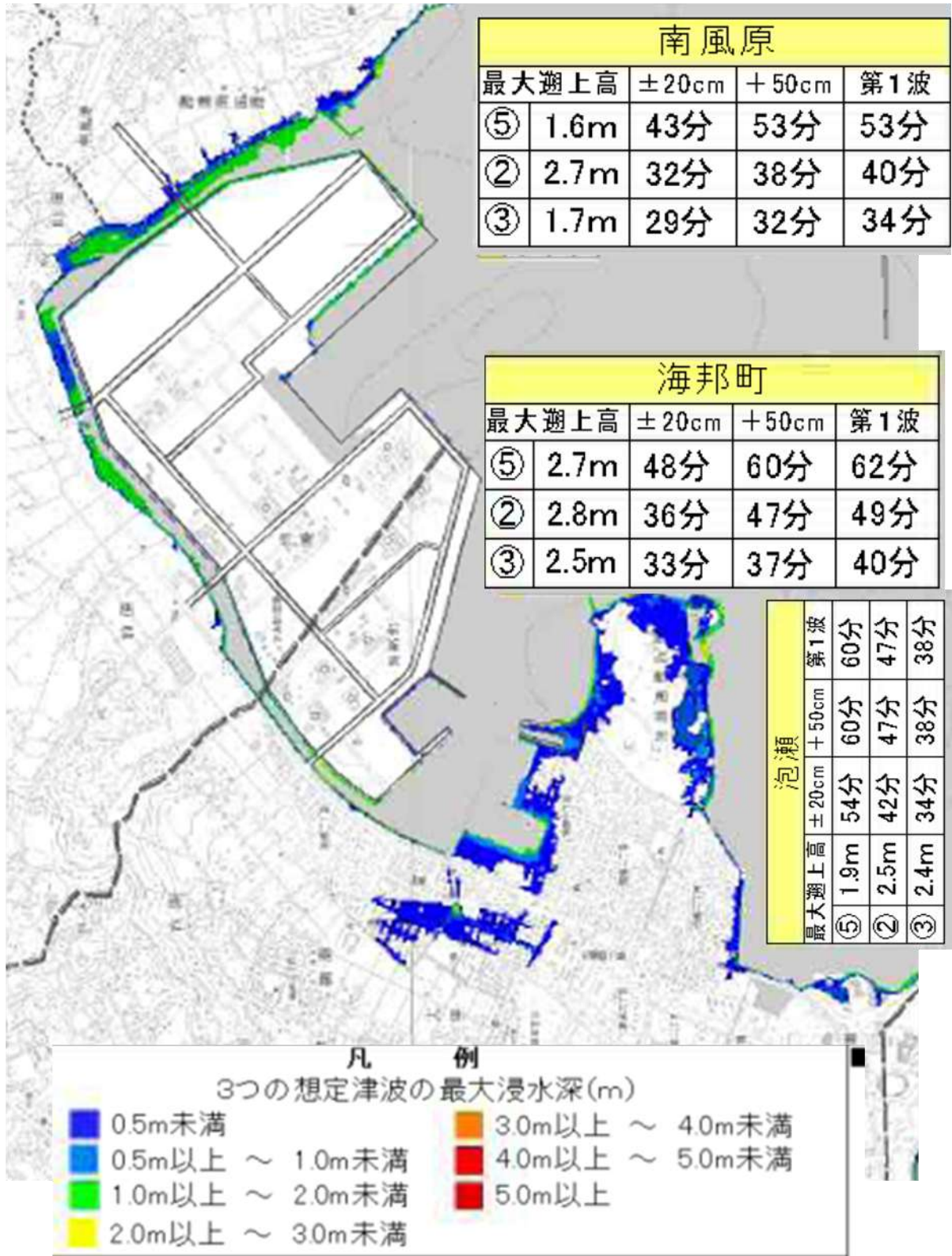
沖縄県で、平成18年3月～平成19年3月にかけて将来、発生が予想される津波による浸水予想図や人的・物的被害の予測結果をとりまとると下記のとおりである。

津波の発生源である地震の震源地は、沖縄本島近海の海底活断層の分布や、近年の地震活動の状況から、左図に示す5箇所を想定し、地震規模は全ての震源地(M7.8)を想定したシミュレーションから津波CGと浸水予想図を作成。

津波の浸水予想図は、沿岸の防護施設(防波堤や護岸など)の機能が発揮された場合と、発揮されなかった場合(決壊した)の2ケースについてシミュレーションを実施し、浸水区域が最大になるケースを表示。



○津波浸水予測図（中城湾港 新港地区周辺事例）



※「沖縄県津波・高潮被害想定調査」HPより抜粋

○津波浸水予測結果概要図（金武・中城湾港関連抜粋）



最大遡上高 :各地区で津波が到達する最高の標高
 影響開始時間:地震発生から津波より水位変化±20cmが生じるまでの時間
 (±20cm:人命等に影響がでる恐れのある水位変化)
 津波到達時間:地震発生から津波(第一波)のピークが到達するまでの時間

※「沖縄県津波・高潮被害想定調査」HPより抜粋

4. 防災マップ(中城湾港 新港地区周辺事例)

避難場所のマークをクリックすると、各避難場所の拡大地図と場所の詳細が表示されます。

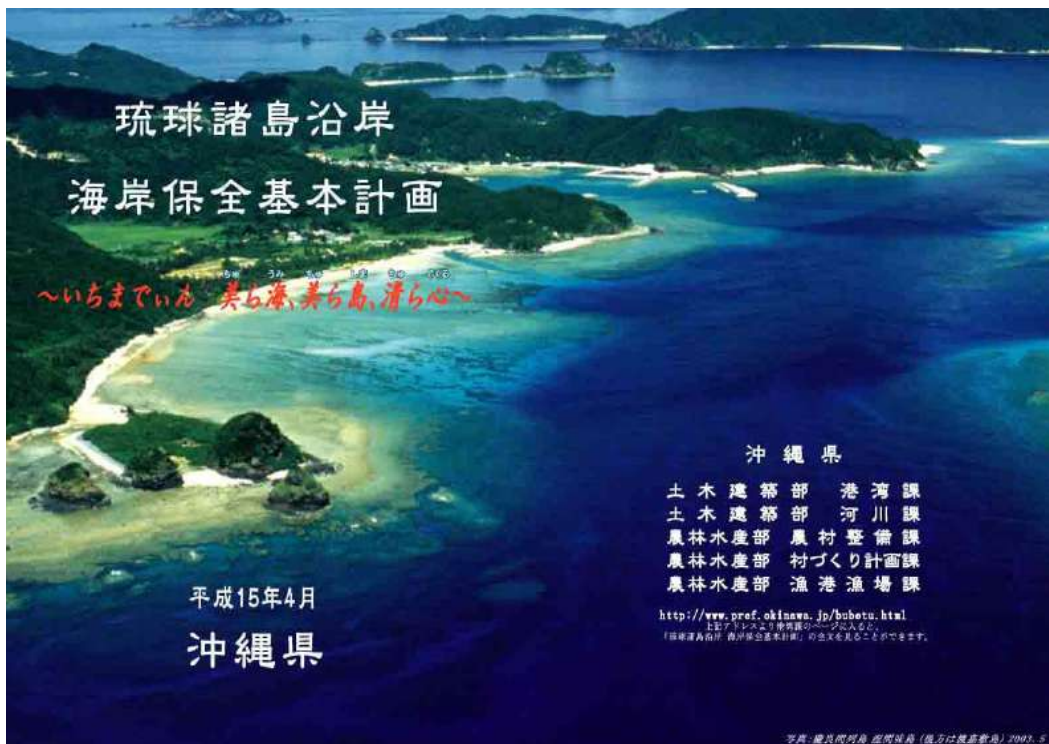


※沖縄市「沖縄市防災マップ」HP より抜粋



※うるま市防災マップ(津波・高潮ハザードマップ) HP より抽出

5. 海岸保全基本計画(金武・中城湾港関連抜粋)



★ 地域の特長を活かす海岸保全施設の再整備

より自然的で美しく誰もが親しめる良好な海岸環境を目指して、防護、環境、利用のバランスのとれた海岸保全施設の再整備に取り組みます。



※琉球諸島沿岸 海岸保全基本計画 (平成15年4月24日策定)「沖縄県」HPより

(ゾーニング図)



海岸環境を積極的に保全する区域

市町村名	海岸線延長 (Km)	海岸環境を積極的に保全する区域 (Km)	割合 (%)	
宜野座村	12	9	76%	
金武町	14	5	35%	
うるま市	石川市	8	0	3%
	具志川市	12	4	32%
	与那城町	38	23	61%
	勝連町	30	5	16%
沖縄市	8	0	0%	
北中城村	4	0	0%	
中城村	10	1	10%	
西原町	9	0	0%	
与那原町	4	0	0%	
南城市	佐敷町	6	0	0%
	知念村	19	8	41%
	玉城村	8	3	37%
上記計	182	58	32%	

数値は、端数処理の関係で合わない場合がある。

※琉球諸島沿岸 海岸保全基本計画 (平成 15 年 4 月)「沖縄県」 p21 より抜粋